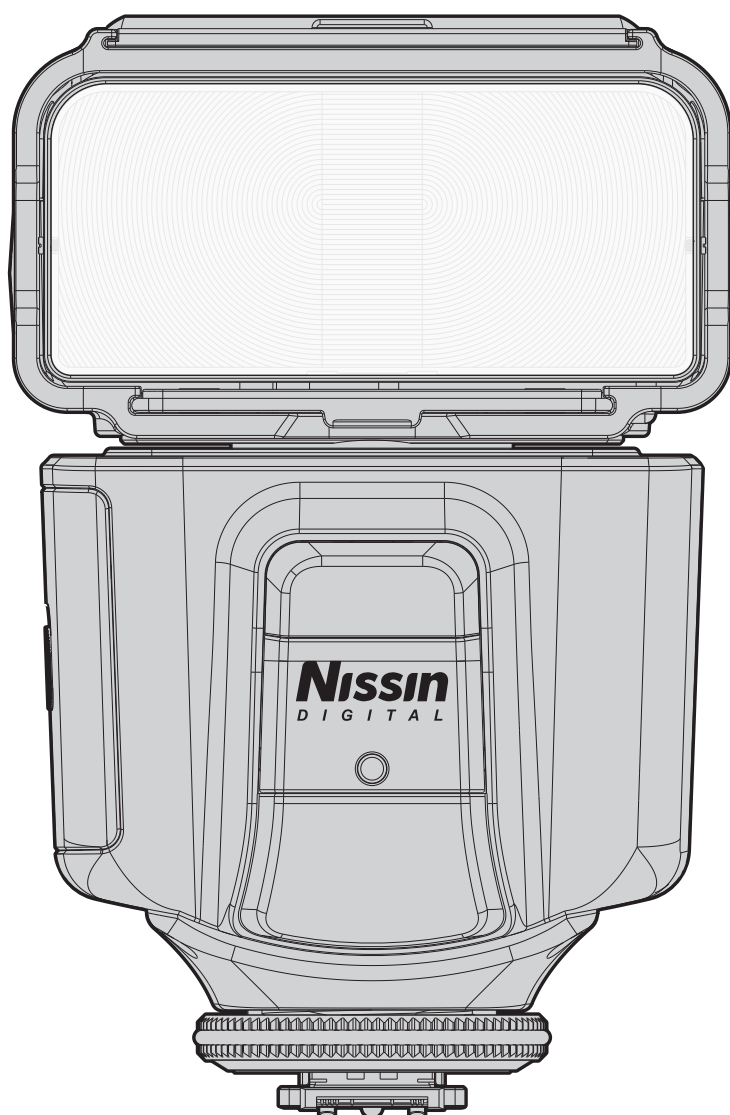


Nissin
DIGITAL

MG60

キヤノン、ニコン、ソニー用

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<https://www.nissin-japan.com> でご確認ください。

ニッシンMG60は、ストロボを制御するNASシステムを内蔵したキヤノン／ニコン／ソニーのカメラ用に設計されています。本機は、TTL操作の他のブランドのカメラでは使用できませんのでご注意ください。

製品保証について



本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書、購入証明書を大切に保管してください。なお、本製品の付属アクセサリーは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

高温注意

連続発光後はズームカバーの金属部や中の発光面が熱くなるためやけどにご注意ください。特に、ズームカバーを外す場合は、中の発光面に身体や燃えやすいものなどが直接触れないようにしてください。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守り下さい。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物理損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 熱くなる、煙が出る、焦げ臭い、液漏れ、変色などの異常が発生した時は、やけどに十分な注意して速かに電池を取り外してください。
- 本機は高電圧の部分がありますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社に直接またはご購入頂いた店舗にご依頼下さい。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび揮発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。
- 走行中の車輛に向けてフラッシュをたかないで下さい。
- 発光面を人の身体に近づけて発光しないでください。怪我する恐れがあります。
- バッテリーは正しくセットして下さい。極性を間違えると液漏れや発火、爆発の原因になります。



注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 連続発光後は本体（特に発光パネル部）や電池が熱くなっていますので、火傷にご注意ください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、床に投げつけたりしないで下さい。



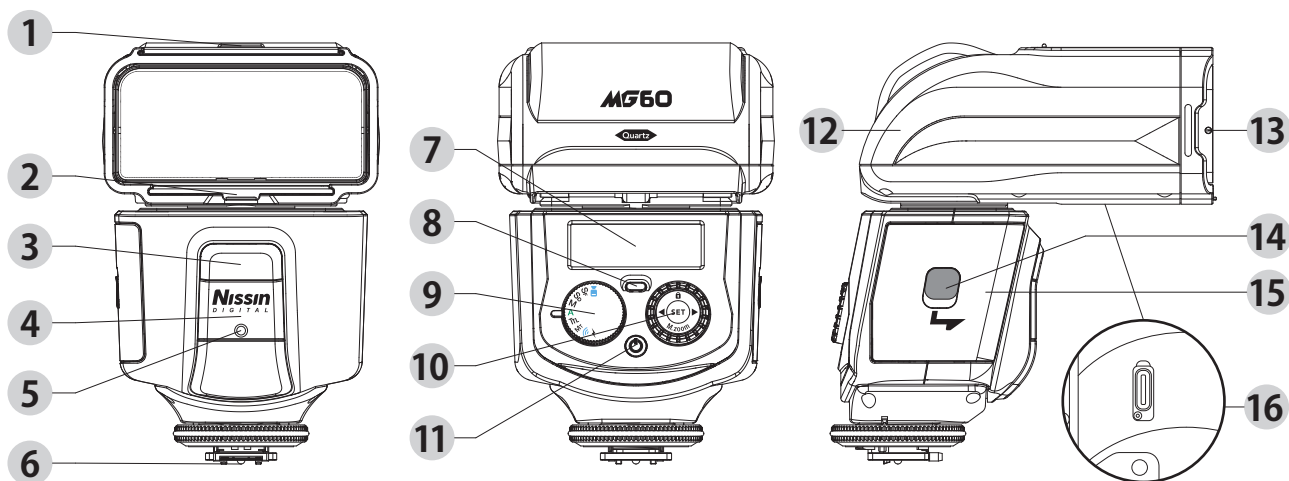
その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

目次

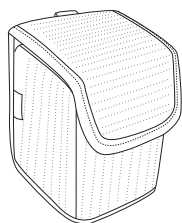
各部名称	4
基本操作	
電池を入れる／カメラに装着する／カメラから取り外す	5
電源を入れる・電源を切る／電池の状態／オーバーヒート	6
モードダイヤル	
ストロボモード選択	7
光量調整ダイヤル	
光量調整と機能選択	8
モードダイヤル	
ビデオライト	9
オートモード	10 - 11
TTLモード	12
マニュアルモード	13
マルチ発光モード	14 - 15
ワイヤレススレーブモード SD／SF	16
光学式ワイヤレススレーブモード	17
電波式ワイヤレススレーブモード NAS	18 - 19
光量調整ダイヤル	
設定ボタン／矢印ボタン／マニュアルズーム	20
ビープ音設定	21
発光部操作	
キャッチライトパネル／ディフューザー／ワイドパネル	22
ズームカバー／バウンス発光	23
AF補助光	24
ファームウェアアップデート方法	25
主な仕様	26
ガイドナンバーテーブル	27
トラブルシューティング	28
製品保証について	29

各部名称

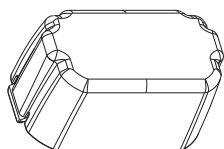


- 1 キャッチライトパネル
- 2 ワイドパネル
- 3 ビデオライト
- 4 リモート/スレーブセンサー
- 5 AF補助光
- 6 取付足・接点
- 7 LCDパネル
- 8 パイロットランプ(テスト発光ボタン)
- 9 モードダイヤル
- 10 光量調整ダイヤル 兼 機能ボタン
- 11 電源ボタン
- 12 発光部
- 13 ズームカバー(磁力吸着式)
- 14 ロック解除ボタン
- 15 電池室カバー
- 16 USB サービスポート
(ファームウェアアップデート用)

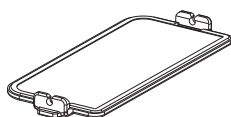
● 付属アクセサリ



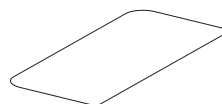
ポーチ



ディフューザー



フィルターホルダー



アンバーフィルター



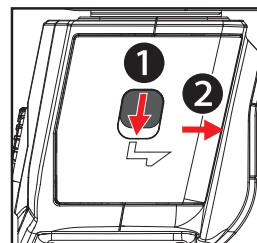
ミニスタンド

基本操作

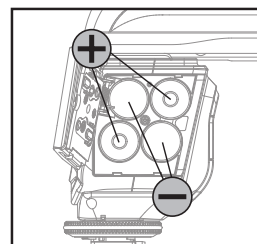
電池を入れる

使用できる電池：ニッケル水素、アルカリ乾電池、リチウムイオン充電電池

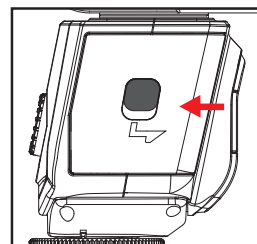
1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。



2. 電池4本の+、-の向きを、表示に合わせて正しく挿入します。



3. 電池カバーを閉めて、元の位置にスライドさせてください。



カメラに装着する

1. 本機の電源がオフになっていることを確認して、ロックリングを反時計方向に回して緩めます。(図1)

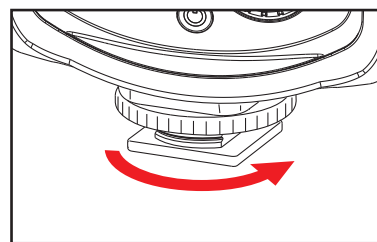


図1

2. カメラのホットシューに取付足を挿入し(図2)、ロックリングを時計方向に回してしっかりと固定します。(図3)

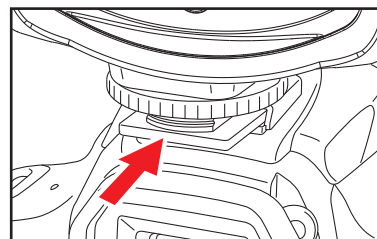


図2

カメラから取り外す

ロックリングを緩めて、取付足をスライドさせて取り外します。

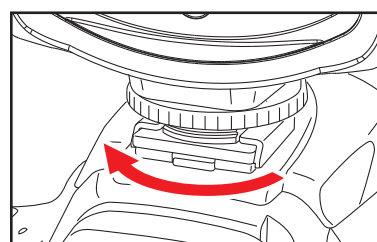
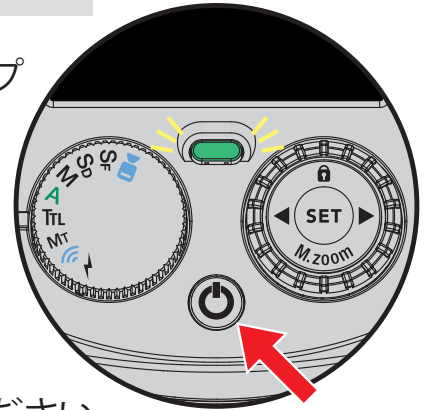


図3

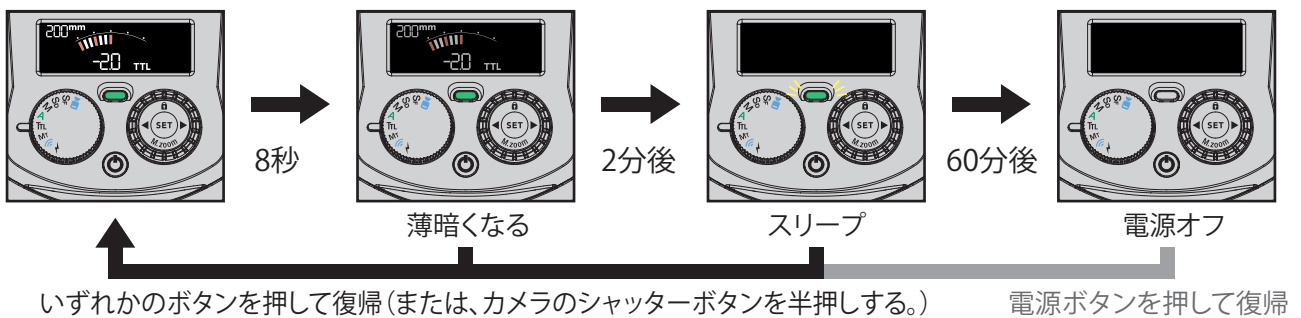
基本操作

電源を入れる／電源を切る

- 電源ボタンを押すと電源が入り、パイロットランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。
- 充電が完了すると、パイロットランプが緑色に変わり、本機が使用可能になります。
- 本機をテストする場合はパイロットランプを押します。
- 電源を切る場合は、「電源ボタン」を1秒間押してください。



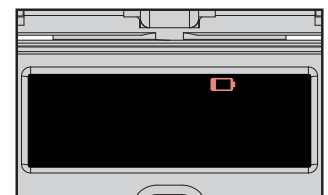
省エネ機能



電池の状態

電池のアイコン表示

- 挿入間違い(電池の種類/向き)
- 電池電圧の低下



※電池は同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。

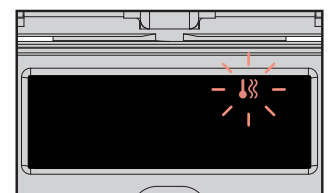
同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、全て同時に充電した電池を使用してください。

オーバーヒート

オーバーヒートのアイコンが点滅しています。

- ストロボのオーバーヒート
- 電池の過熱

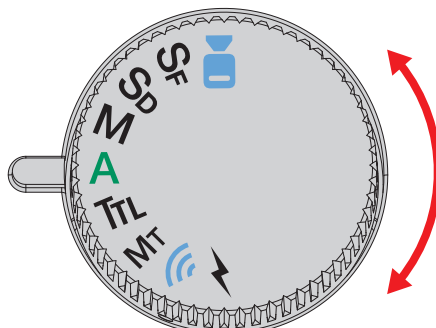
冷却後にアイコンは消えます。



モードダイヤル

ストロボモード選択

ダイヤルを回してモードを選んでください。

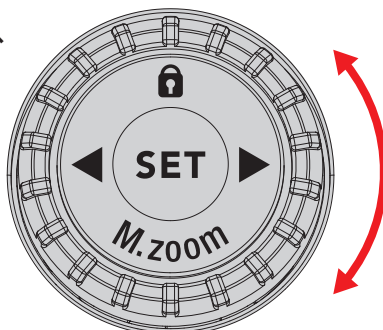


	ビデオライトモード 9段階の発光量調節機能付き内蔵ビデオライト
S_F	アナログ(フィルム)スレーブモード 単発発光用スレーブ(従来型)
S_D	デジタルスレーブモード プリ発光キャンセル機能付きスレーブ(TTL対応型)
M	マニュアルモード 発光量を手動でセットします。
A	フルオートモード カメラに取り付けて撮るだけで自動的に発光量を調整します。
TTL	TTLモード 自動的に発光量を調整します。調光補正により微調節ができます。
MT	マルチ発光モード 1枚の写真で複数の連続した動きを撮影します。
	NASモード NASコマンダーを介した電波式ワイヤレススレーブ発光
	光学式ワイヤレスモード 光学式ワイヤレスリモートストロボシステムに同期します。

光量調整ダイヤル

光量調整と機能選択

ダイヤルを回して発光量の調整、ボタンを押して機能の選択をします。

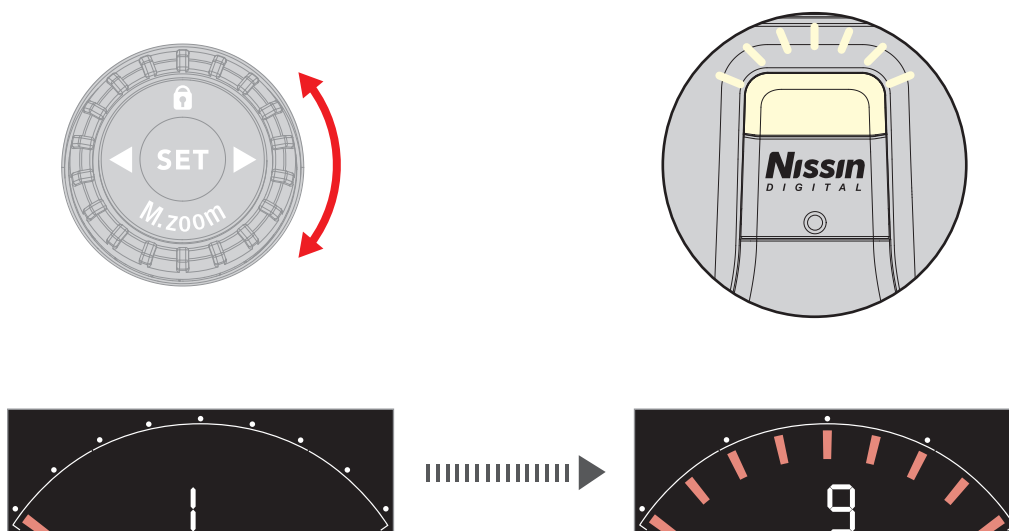


	ダイヤル 回転させて、発光量の調整、グループ/チャンネルの選択、高度な設定のオン/オフを行います。
	ロック ボタンを1秒間長押しすると、ボタンの誤操作やコントロール全体の設定をロックまたは解除することができます。
SET	セット SETを押して詳細設定ページに入り、もう一度押すと設定が確定してメインページに戻ります。
M. ZOOM	マニュアルズーム ボタンを1秒間長押しすると、ズームヘッドの位置が変わります。
	矢印ボタン 左または右矢印を押して、高度な設定を選択します < Gr / Ch /  /  / H^z > [注] : ニコンカメラの場合、ユーザーはカメラ側でHSS (FP) 機能を有効にすることができます。

モードダイヤル

▶ 0 ビデオライト

- 本機をカメラのホットシューにセットし、電源ボタンを押して電源を入れます。
- モードダイヤルを回し ▶ 0 を選びます。
- 光量調整ダイヤルを回して、9段階の発光レベルを調整することができます。



⚠ 注意

LED ビデオライトの点灯時間は、フルパワーの電池で約 3.5 時間持続します。

モードダイヤル


A

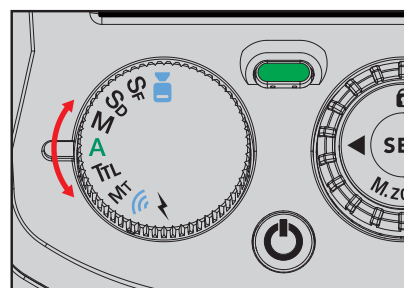
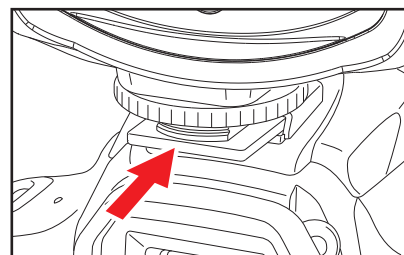
オートモード

カメラモード

Canon	Nikon	Sony	
[□]	[]	[AUTO]	オート
[P]	[P]	[P]	プログラムオート
[Av]	[A]	[A]	絞り優先オート
[Tv]	[S]	[S]	シャッター優先オート
[M]	[M]	[M]	マニュアル

左記のカメラの撮影モードにおいて、本機は TTL 自動調光システムに対応しています。

- 本機をカメラのホットシューにセットし、電源ボタンを押して電源を入れます。
- ファンクションダイヤルを回してAモードにします。
- カメラの自動発光制御システムに本機が設定されました。
- カメラのシャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。
- カメラのファインダーには、シャッタースピード、絞り、ストロボマーク () が表示されます。
- 写真を撮ります。本機が作動し、撮影結果がすぐにカメラの液晶ディスプレイに表示されます。
- 焦点距離を変更すると、本機のズームカバーは即座に選択したレンズの焦点距離に合わせて位置を移動します。
- MG60の照射角は、24mm～200mmのレンズ焦点距離に対応しています。



モードダイヤル

A オートモード

カメラの撮影モードを設定し、焦点距離を選び、本機をカメラに装着して撮影します。

本機は、クリエイティブで生き生きとした写真を撮るための補助ツールです。ほとんどの作業がカメラによって自動的に行われ、あなたはカメラを操作するだけです。

モード	シャッタースピード	絞り設定	カメラ側の操作
[]	オート	オート	オート
[P]	オート	オート	オート
[S]	マニュアル	オート	任意のシャッタースピードが設定可能
[A]	オート		任意のF値が設定可能
[M]	マニュアル	マニュアル	任意のシャッタースピードとF値の組み合わせが設定可能

モードダイヤル



TTLモード

最新のTTLストロボ制御システムにより、ストロボの発光レベルは常にカメラによって自動的に制御され、最適な露出を得ることができます。好みに応じて、環境や背景の露出効果を変えずに、ストロボ光を柔らかくしたり弱くしたり、被写体に光を多く与えたりすることができます。本機は、必要に応じて、それぞれのストロボ写真の露出を素早く調整することが可能です。

- 本機をカメラのホットシューにセットし、電源ボタンを押して電源を入れます。
- モードダイヤルを回し**TTL**モードにします。

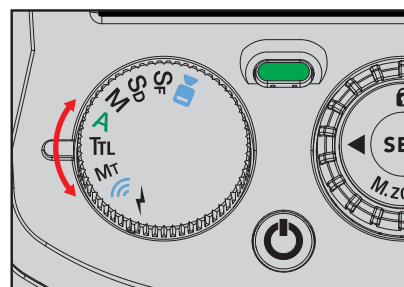
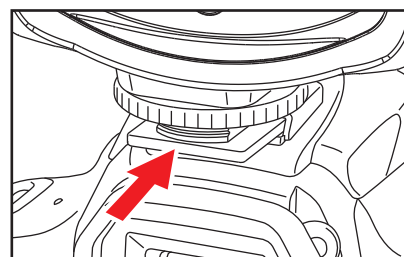
発光量の調光補正值を設定するには、光量調整ダイヤルを回して希望の補正值に設定します。

TTL 調光補正は、1/3Ev 刻みで 13 段階です。

-2.0, -1.7, -1.3, -1.0, -0.7, -0.3, 0, +0.3, +0.7, +1.0, +1.3, +1.7, +2.0 Ev.

- 背景の露出を想定通りにすることで、被写体に必要な照明効果を与えて撮影することができます。
- 一部のカメラでは、TTL 調光補正の設定をカメラのメニューモードで行うことができます。カメラでTTL 調光補正を設定すると、カメラのメニューモードで選択した補正に加えて、MG60 で設定した補正もカウントされます。

【例】：フラッシュ側で+1、カメラ側で+1.3の補正をした場合、合計で+2.3EVの補正となります。)

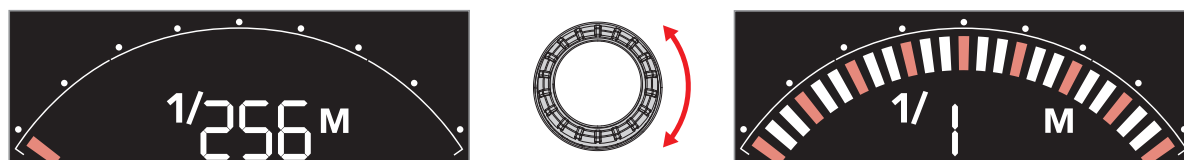


モードダイヤル

M マニュアルモード

特別な表現や場面では、自動制御ではなく、光量を自分で決めたい場合があります。その場合は、本機をマニュアルモードに設定し、任意の光量で発光させることができます。

- 本機をカメラのホットシューにセットし、電源ボタンを押して電源を入れます。
- モードダイヤルを回して M モードを選択します。
- 光量調整ダイヤルを回すことで、1/256 ~ 1/1 (フル) の発光量を選択できます。
赤いカラーバーは1EVステップ、白いカラーバーは1/3EVステップを表します。



- カメラの撮影モードを [A] または [M] に設定します。
- 撮りたいF値とシャッタースピードを選び、被写体に向けてシャッターを押します。

モードダイヤル

MT

マルチ発光モード

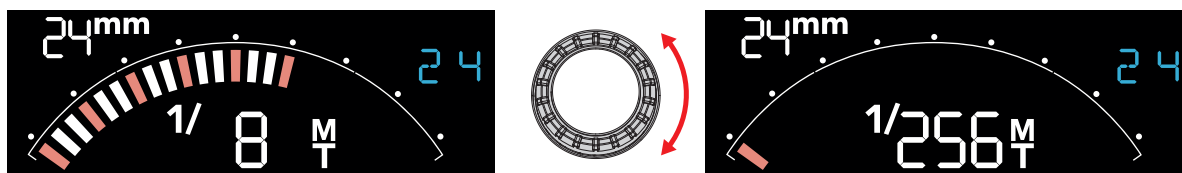
マルチ発光モードでは、1回の露出で繰り返し発光し、ストロボ効果のある多重露出効果を生み出します。

あらかじめ発光量、周波数、発光回数を設定しておく必要があります。

発光量、周波数、発光回数

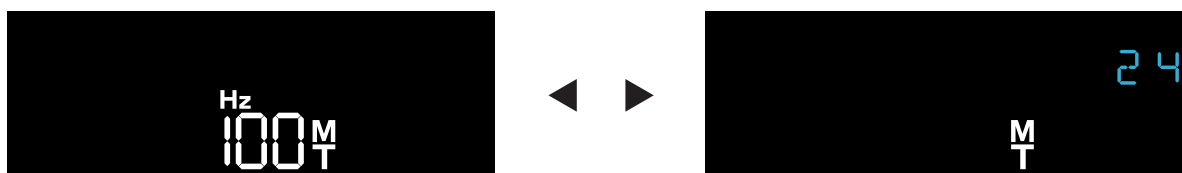
- 発光量：最大 1/8 ～ 1/256
- 周波数：1 Hz ～ 100 Hz
- 発光回数：1 ～ 90 回

操作



SET を押して詳細設定ページに入ります。

◀ ▶ を押して周波数・発光回数を選択します。



周波数

発光回数

🌀 を回して周波数と発光回数を変更します。

SET を押して確認し終了します。

モードダイヤル

MT

マルチ発光モード

シャッタースピードの計算方法

カメラに設定するシャッタースピードは、以下のように計算されます。

発光回数 ÷ 周波数 = シャッタースピード

【例】: 10Hzで20回発光させるには、 $20 \div 10 = 2$

カメラに設定するシャッタースピードは2秒以上です。

最大連続発光回数

周波数	発光量									
	1/256 - 1/64	1/64 +1/3EV	1/64 +2/3EV	1/32	1/32 +1/3EV	1/32 +2/3EV	1/16	1/16 +1/3EV	1/16 +2/3EV	1/8
1	90	78	68	60	46	36	30	22	16	14
2										
3	90	78	68	60	46	36	30	18	14	12
4	80	64	56	50	30	24	20	14	12	10
5	70	52	44	40	30	24	20	12	10	8
6	56	40	36	32	30	24	20	10	7	6
7	44	36	32	28	26	24	20	10	7	6
8	36	30	26	24	14	12	10	8	6	5
9	32	28	24	22	14	12	10	8	6	5
10	28	26	22	20	10	9	8	6	5	4
20	24	18	14	12	10	9	8	6	5	4
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										
100										

モードダイヤル



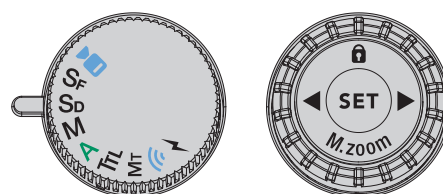
ワイヤレススレーブモード

本機は、スレーブユニットとしてワイヤレスリモートストロボシステムを備えています。さまざまな方向から複数の照明でクリエイティブなストロボ撮影を楽しむことができる2つのスレーブモードが提供されています。デジタルプリフラッシュシステム用のデジタルスレーブ (SD) とアナログストロボシステム用のアナログスレーブ (SF) です。

SD … デジタルスレーブ

このモードでは、プリフラッシュシステムに同期します。マスターストロボはTTLモードに設定します。

- 光量調整ダイヤルを回転させることにより、 $1/256 \sim 1/1$ (フル) で発光量を選択できます。
- ロックボタンを1秒間押し続けると、ストロボでこの状態がロックされます。(もう一度押せばロックは解除されます。)

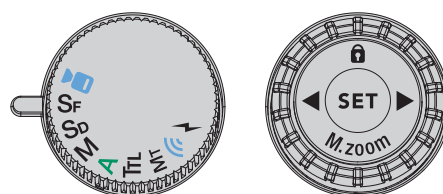


SF … アナログスレーブ

マスターストロボはマニュアル調光モードに設定します。スタジオ照明システムはこのモードに同期します。

このモードは、市販の汎用ストロボでも使用できます。

- 光量調整ダイヤルを回転させることにより、 $1/256 \sim 1/1$ (フル) で発光量を調節できます。
- ロックボタンを1秒間押し続けると、あなたのストロボでこの状態がロックされます。(もう一度押せばロックは解除されます。)



モードダイヤル



光学式ワイヤレススレーブモード

MG60は光学式ワイヤレススレーブモードシステムと同期します。さまざまな方向から複数の照明でクリエイティブなストロボ撮影を楽しむことができます。

光学式ワイヤレス機能

このモードでは、光学式リモートストロボシステムと同期します。すべてのチャンネルとグループをリモート処理します。

A=グループA B=グループB C=グループC



MG60はワイヤレス TTL / M / マルチ発光に対応しています。お手持ちのマスターストロボ/コマンダーをセットすると、自動的に設定に従います。

- モードダイヤルを ⚡モードに設定すると、AF補助光が点滅し ⚡が点灯します。
- 全ての光量調整はマスターストロボ/コマンダーで行われます。

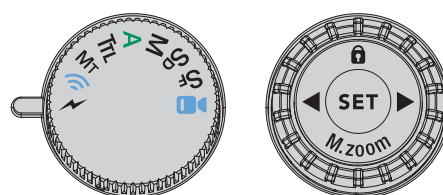
 を押して詳細設定に入ります。

  を押して **Gr** /  を選びます。

 を回して **A B C** グループを選びます。

 を回して  スイッチを on/off にします。

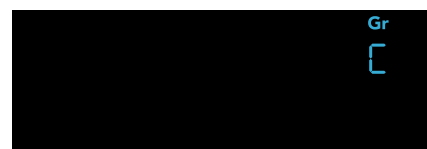
 を押してグループ設定を確認し、メインページに戻ります。



TTL モード



マニュアルモード



！ 注意

光学式マルチストロボは、サポートするストロボ/コマンダーに限定されています。マスターストロボのマニュアルを参照してください。







モードダイヤル

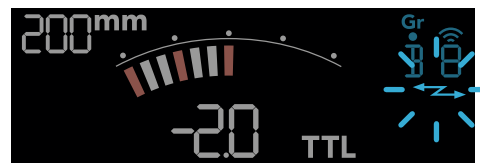
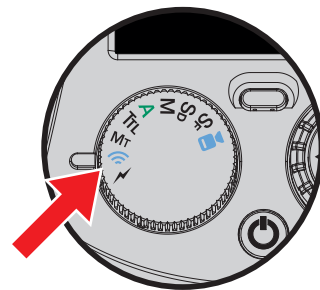


電波式ワイヤレススレーブモード(NAS)






本機は、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステムNASのスレーブ機能を内蔵しています。さまざまな方向のストロボを複数回使用して、クリエイティブな写真を楽しむことができます。通常のTTLオート撮影と同じように、ワイヤレスで複数のストロボを簡単に接続、遠隔操作できます。

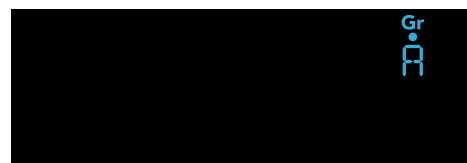
ペアリング

- 本機の電源をオフにし、モードダイヤルを  に合わせます。
- ビーブ音が聞こえるまで、本機の  と  のボタンを押し続けます。
- コマンドーの  と  のボタンを  が点滅するまで押し続けます。
- ペアリングが完了すると、ビーブ音と点滅が止まります。
- 本機がNASにリンクされると、機能はNASコマンドーによって直接制御されます。
- NAS接続アイコンが点滅する場合は、本機とコマンドーが接続されていません。



グループ設定

-  を押して詳細設定に入ります。
-   を押して **Gr** を選択します。
-  を回して **A / B / C / D / A' / B' / C' / D'** グループを変えます。
-  を押してグループ設定を確定し、メインページに戻ります。





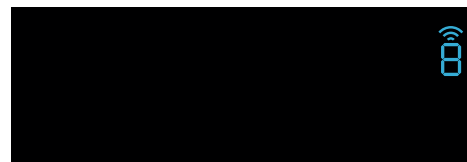
モードダイヤル



電波式ワイヤレススレーブモード(NAS)


チャンネル設定

- **SET** を押して詳細設定に入ります。
- ◀ ▶ を押して  を選択します。
-  を回してチャンネルを切り換えます。
- **SET** を押してチャンネル設定を確定し、メインページに戻ります。



オープンモード

本機は、MGシリーズ独自の「オープンモード」をサポートしており、さまざまなカメラが同じストロボセットを1か所で使用できるようにします。

- **SET** を押して詳細設定に入ります。
- ◀ ▶ を押して **OPEN** を選択します。
-  を回して **OPEN** オン/オフに切り替える
点滅 : オフ
点灯 : オン
- **SET** を押してオープンモード設定を確定し、メインページに戻ります。



オープンモード・オフ



オープンモード・オン

光量調整ダイヤル

SET

設定ボタン

SET ボタンを押すと、HSS、ビープ音、グループ、チャンネル、周波数、回数など、ストロボの詳細設定を調整できます。



◀ ▶

矢印ボタン

◀ ▶ を押して詳細設定を選択します。

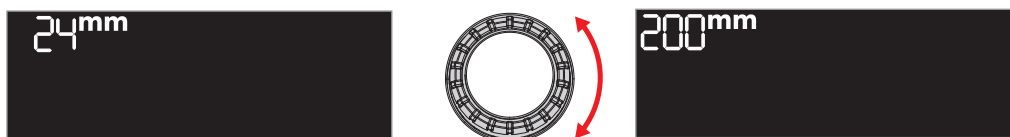
Gr / Ch / OPEN / / H[⚡] 【注】：ニコンカメラの場合、ユーザーはカメラ側でHSS (FP) 機能を有効にすることができます。

M.ZOOM

マニュアルズーム

本機は「A オートズームモード」と「マニュアルズームモード」があります。

- S_F / S_D / M / T_L / M_T / のモード時にマニュアルズームの設定が可能です
- M.ZOOM を1秒間押し続けるとズーム設定になります。
- を回してズームヘッドの位置を変えます。



- M.ZOOM を1秒間押し続ける、または を1回押すと、確認して戻ります。

【注】：本機がビープ音 OFF に設定されている場合は、コマンダーの設定よりも本機の設定が優先されるためビープ音は鳴りません。

本機がビープ音 ON に設定されている場合は、コマンダーの設定が優先されるため、コマンダーがビープ音 ON に設定されていないとビープ音は鳴りません。

！ 注意








選択したズーム設定は記憶され、ストロボをリセットするまで変更されません。

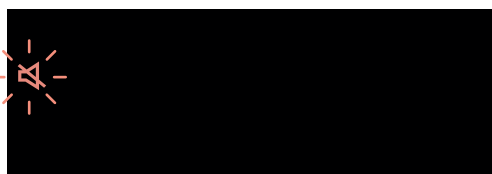
光量調整ダイヤル



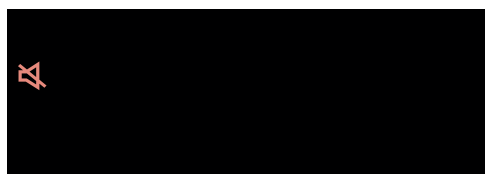
ビープ音設定

本機をスレーブストロボとして使用する場合、初期設定ではコマンダー設定変更時と充電中にビープ音が鳴るようになっています。

- **S_D** / **S_F** /  /  のモード時にビープ音の設定が可能です。
-  を押して詳細設定に入ります。
-   を押して  を選択します。
-  を回してビープ音のオン・オフを切り換えます。



ビープ音・オン



ビープ音・オフ

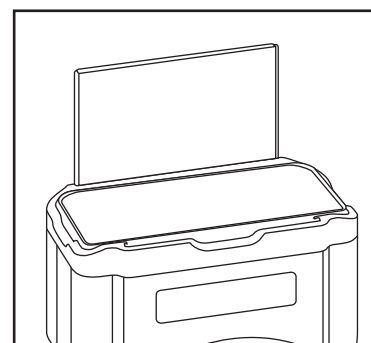
-  を押してビープ音設定を確定し、メインページに戻ります。

発光部操作

キャッチライトパネル

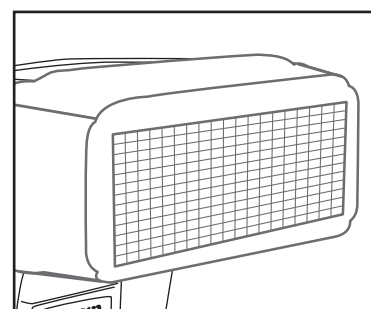
バウンス撮影時にキャッチライトパネルを近距離で使用すると、光が被写体の目に入り、表情が明るくなります。

- キャッチライトパネルを使用する場合は、上方方向に90°バウンスさせます。
- キャッチライトパネルは、ディフューザーを装着して使用することができます。
- ズーム位置を24mmに設定することをお勧めします。



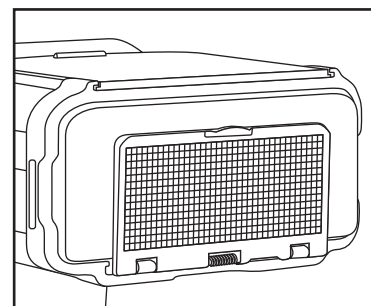
ディフューザー

- ディフューザーを発光部に装着し、光を拡散します。



ワイドパネル

- ワイドパネルを引き出し、図のように発光部の前に被せることで、16mmの撮影画角に対応できます。
- ワイドパネルを引き出すと、ズームカバーが自動的に24mmの位置に移動します。



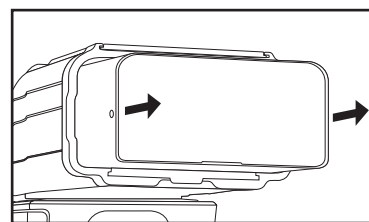
⚠ 注意

ズームカバーを外したときは、ワイドパネルを使用しないでください。発光部の熱で溶ける場合があります。

発光部操作

ズームカバー（マグネット式）

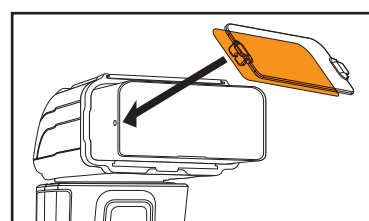
- モディファイヤなどのアクセサリーを使用する場合は、ズームカバーを外すと、照射角はより広く、放熱効率も高まるので、おすすめです。



⚠ 注意

発光部が高温になりますので、発光面に直接触れないようにご注意ください。

- アンバーフィルターをフィルターホルダーにセットし、写真のようにズームカバーに取付けます。

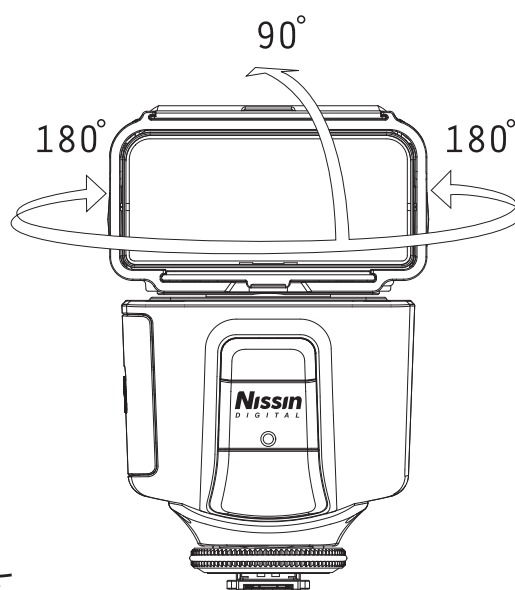


バウンス発光

壁の前にある被写体に光を当てると、被写体の後ろの壁に不必要にシャープな影ができてしまい、残念な写真になってしまいます。

天井や壁に光をバウンスさせて被写体への光を和らげると、影が薄くなります。

- 発光部は上方向に90°、左方向に180°、右方向に180°回転します。
- 上向き/横向きにすることで、複数の方向にセットすることができます。
- 発光部が回転または傾いたままの状態では、本機のズーム設定位置は自動的に焦点距離50mmのレンズの位置に設定されます。
- バウンスする時の壁や天井は平らな面で、白色が望ましいです。天井や壁に色がついていると、その色が被写体に反映されてしまうことがあります。
- バウンスすると、光が減衰します。十分な効果が得られない場合は、カメラのISO感度を上げるなど、露出設定を調整してください。



AF補助光

光量の少ない場所や暗い場所では、AF補助光が自動的に発光して被写体を照らすので、暗闇でもピント合わせがしやすくなります。ただし、AF補助光は写真には写りません。(デジタル一眼レフカメラのみ)

デジタル一眼レフカメラ



ファームウェア アップデート方法

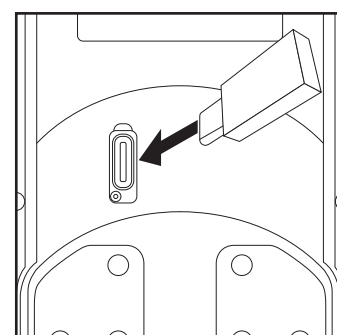
アップデートする前に

ファームウェアのアップデート手順を開始するには、以下のものがが必要です。

- インターネットに接続されているコンピューター（WindowsまたはMac）。
- USB Type-C コネクタ採用のUSBメモリ（32GB以下推奨）。
- フル充電されたリチウムイオン電池またはニッケル水素充電電池。

アップデートの仕方

1. ファームウェアファイルをダウンロードしてください。
ファームウェアファイルのダウンロードは以下のリンク先をご確認ください。
<https://www.nissin-japan.com/product/mg60/>
2. USBメモリをパソコンに接続してください。
3. FAT32形式にフォーマットしてください。（必要に応じてフォーマット前にバックアップしてください。）
4. 1.でダウンロードしたファイルを解凍し、USBメモリの一番上の階層にコピーしてください。
5. USBメモリをパソコンから取り出してください。
6. フル充電した電池を本機に挿入してください。
7. USBメモリを本機に挿入してください。
8. 本機の電源を入れてください。
本機のパイロットランプが黄色に点滅します。
9. ファームウェアのアップデート手順が完了すると、緑色のランプが点灯します。
電源を切り、USBメモリを取り出してください。
10. 本機の電源を入れてください。



MG60のファームウェアのバージョンを確認する方法

1. 本機の電源を切ってください。
2. パイロットボタンと電源ボタンを長押しします。
3. 液晶画面にファームウェアのバージョンが表示されます。
4. パイロットボタンと電源ボタンを離すと、ファームウェアバージョンの表示が消え、メインページに戻ります。

主な仕様

対応マウント	キヤノン／ニコン／ソニー
ガイドナンバー (ISO 100・m)	ガイドナンバー 60 (200mm時) / 32 (35mm時) 82.5Ws / クォーツ放電管
照射角	24mm～200mmのズーム機能付き着脱式ズームカバー 16mm ワイドパネルを内蔵
電源	14500 保護回路付きリチウムイオン電池4本 / 単3形ニッケル水素充電電池4本 / 単3形アルカリ電池4本
発光間隔	約0.1～約1.2秒 (14500 サイズ 保護回路付きリチウムイオン電池使用時) 約0.1～約3秒 (単3形ニッケル水素充電電池使用時)
発光回数	約360回 (14500 1000mAh リチウムイオン電池使用時) 約250回 (2450mAh ニッケル水素電池使用時)
色温度	約5,600K (ズームカバー取付時)
閃光時間 (t0.5 / t0.1)	1/400 ～ 1/20,000 秒
バウンス	上90°、左右180°
動作モード	TTL、オート、マニュアル、SD、SF、ビデオ、マルチ発光、光学式ワイヤレス、NAS
ワイヤレスシステム	電波式ワイヤレス TTL (NAS・ニッシンエアシステム) および光学式ワイヤレス TTL (カメラメーカーと互換)
チャンネル数	8チャンネル
発光グループ	A、B、C、D & \dot{A} 、 \dot{B} 、 \dot{C} 、 \dot{D} (8グループ)
その他機能	ペアリングを必要としないオープンモード (ニッシン製対応コマンダーのみ)・キーロック
最大連写速度	10回/秒
マニュアルズーム	マニュアル調整 (24 / 28 / 35 / 50 / 70 / 85 / 105 / 135 / 200 mm)
EV補正	[TTL]: -2.0 ～ +2.0、1/3EV 段 [マニュアル]: 1～1/256 (1/3段)
シンクロモード (一部の機能はカメラ側で設定)	キヤノン … 後幕シンクロ、HSS (ハイスピードシンクロ)、赤目軽減、FEロック ニコン … 後幕シンクロ、オートFP (ハイスピードシンクロ)、赤目軽減、スローシンクロ、FVロック ソニー … 後幕シンクロ、HSS (ハイスピードシンクロ)、赤目軽減、FELロック
AF補助光有効距離	0.7～5m
表示パネル	モードダイヤル付きカラー液晶パネル
ハイスピードシンクロ	1/8,000 秒
付属品	ポーチ、フィルターホルダー、アンバーフィルター、ディフューズキャップ、ミニスタンド
寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	116 (高さ) x 73 (幅) x 98 (奥行) mm
重量	390g (電池別)

ガイドナンバーテーブル(照射角は35mm判換算値)

ガイドナンバー (ISO100・m) 【マニュアルモード時】

焦点距離	パワーレベル(ガイドナンバー)								
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
24mm	27	19	13	10	7	5	3	2	2
28mm	29	20	14	10	7	5	4	3	2
35mm	32	23	16	11	8	6	4	3	2
50mm	39	28	20	14	10	7	5	3	2
70mm	42	30	21	15	11	7	5	4	3
85mm	45	32	23	16	11	8	6	4	3
105mm	50	36	25	18	13	9	6	4	3
135mm	54	38	27	19	13	10	8	5	3
200mm	60	42	30	21	15	11	7	5	4
ズームカバー 取り外し時	20	14	10	7	5	3	2	2	1

私たちがサポートするカメラシステムには、主に3つのイメージセンサーサイズがあります。
35mmフルサイズ、APS-Cサイズ、1インチサイズです。

トラブルシューティング

異常がある場合は、このトラブルシューティングをご参照ください。

ストロボの電源が入らない、またはストロボが発光しない

- 電池が正しく取り付けられているか確認してください。
- 電池が消耗している場合は、電池を交換してください。
- ストロボ本体がカメラにしっかりと固定されていることを確認してください。
- ストロボとカメラの接点をクリーニングしてください。

ストロボ本体の電源が自動的にオフになる

- 60分以上使用しない場合はオフになり、再度電源を入れ直してください。
- パイロットランプが黄色点滅している時は電池が消耗していますので、電池を交換してください。

ストロボ操作・表示異常

- スイッチを入れ、パイロットランプを約5秒間長押しするとリセットされます。

それでも異常がある場合は、ニッシンのホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ：www.nissin-japan.com

製品保証について

次のような不具合事由がある場合は、保証を無効とさせていただきます場合があります。

1. 取扱説明書の指示に従って使用されていない場合。
2. 製品が正規の修理業者以外による修理もしくは改造された場合。
3. 本製品が該当しないカメラ、レンズ、アダプター等、第三者製の付属品と一緒に使用された場合。
4. 火災、地震、洪水、公害、その他天災地変に起因する故障または瑕疵の場合。
5. ほこり、湿気、極端な高温またはそのような悪い状態で製品が保管されている場合。
6. 乱暴な使い方や扱いによって、引っかけ傷、傷、つぶれ、または摩耗した場合。
7. 保証書に購入店名や購入日の記載がない、または保証書がない場合。

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書を大切に保管してください。なお、本製品の付属品は消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

Nissinは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★カメラとの対応状況やファームウェアアップデートについては、ニッシンジャパンのホームページ各製品情報をご覧ください。

★お問い合わせはホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

デザイン・仕様は予告なく変更されることがあります。

Nissin ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <https://www.nissin-japan.com>

Ver. 22010601